

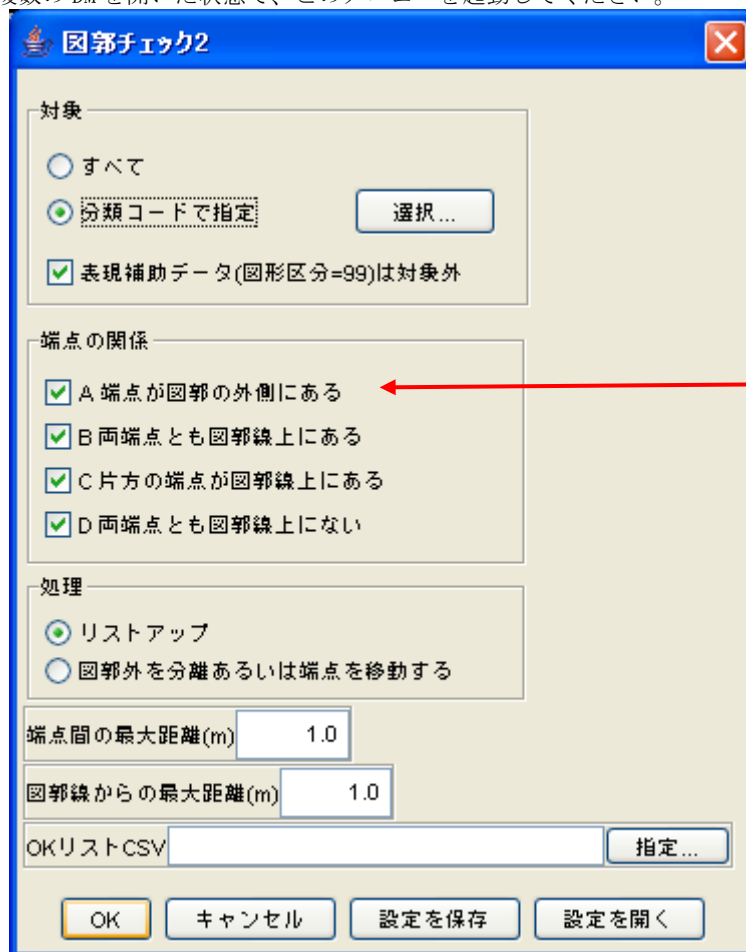
拡張 DM エディタ バージョン 7.0.3 更新記録

2012/06/20
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. 図郭チェック 2

メニュー[チェック]-[図郭チェック 2]をオプション「端点が図郭の外側にある」を追加しました。以下、説明書からの抜粋です。

本来、図郭内にあるはずの線が図郭外に出ていたり、図郭線上で接するべき線(E2)が接していないケースを検出します。隣接する複数のDMを開いた状態で、このメニューを起動してください。



対象

チェック対象となる分類コードを指定します。分類コード別に検査します。

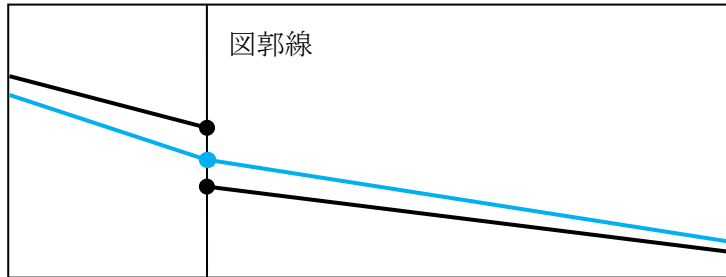
A 端点が図郭外にある

リストアップの場合、線(E2)の端点が図郭外にある場合を検出します。図郭外の部分を切断し、隣の図郭の要素にするには以下の条件を満たす場合です。

- ・線(E2)の端点(最初あるいは最後の点)が上下左右どれかの図郭外にあり、
図郭線からの距離がダイアログで指定された距離より小さい
(隣の図郭の DM がない場合は、切断しません)
- ・線(E2)の点列の端点の隣の点が図郭内あるい図郭線上にある
(端点の隣の点も図郭外の場合は切断しません)

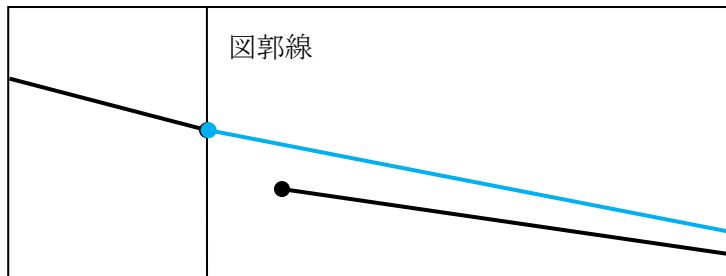
B 両端点とも図郭線上にある

隣接する図郭の線要素の端点が両方とも図郭線上にあり、同じ座標ではないケースを検出します。接続する場合は、両方の端点の中心に、両方の端点を移動します。下図で、黒色は変更前、水色は変更後です。



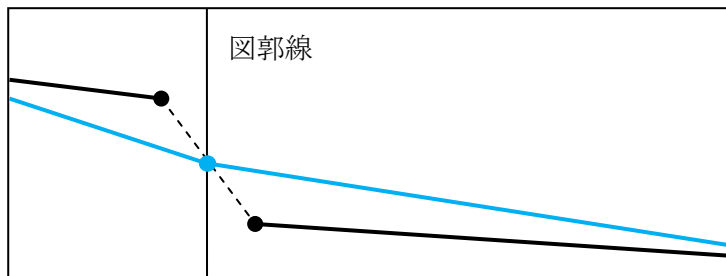
C 片側の端点が図郭線上にある

隣接する図郭の線要素の端点のひとつが図郭線上にあり、もう一つが図郭線の近くあるケースを検出します。接続する場合は、図郭線上にない端点を移動します。



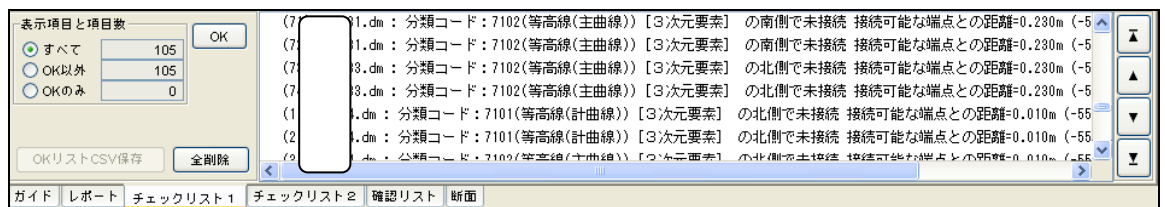
D 両端点とも図郭線上にない

隣接する図郭の線要素の端点が両方とも図郭線上にないケースを検出します。接続する場合は、両端点を結ぶ線と図郭線の交点へ、両方の端点を移動します



リストアップ

上記の処理が可能な端点をそれぞれチェックリストに表示します。



図郭外を分離するあるいは端点を移動する

ABCの順に処理を行います。確認リストには移動した組をリストアップしますので、リストアップ時の行数より少なくなります。

(35)	dm: 分類コード: 7102(等高線(主曲線))[3次元要素]	の東側で未接続 接続可能な端点との距離=0.220m (-55451.76, 12000.00, 159.78)	両方の端点を中間に移動
(36)	dm: 分類コード: 7102(等高線(主曲線))[3次元要素]	の南側で未接続 接続可能な端点との距離=0.230m (-55500.00, 13579.71, 172.00)	両方の端点を中間に移動
(37)	dm: 分類コード: 7102(等高線(主曲線))[3次元要素]	の南側で未接続 接続可能な端点との距離=0.230m (-55500.00, 13583.68, 172.00)	両方の端点を中間に移動
(1)B	m: 分類コード: 7101(等高線(計曲線))[3次元要素]	の北側で未接続 接続可能な端点との距離=0.010m (-55500.01, 11022.95, 90.00)	端点を図郭線上に移動
(2)B	m: 分類コード: 7101(等高線(計曲線))[3次元要素]	の北側で未接続 接続可能な端点との距離=0.010m (-55500.01, 11637.65, 150.00)	端点を図郭線上に移動
(3)B	m: 分類コード: 7102(等高線(主曲線))[3次元要素]	の北側で未接続 接続可能な端点との距離=0.010m (-55500.01, 11376.79, 96.00)	端点を図郭線上に移動
(4)B	m: 分類コード: 7102(等高線(主曲線))[3次元要素]	の東側で未接続 接続可能な端点との距離=0.796m (-54680.37, 11999.57, 156.00)	端点を図郭線上に移動
(5)B	m: 分類コード: 7102(等高線(主曲線))[3次元要素]	の東側で未接続 接続可能な端点との距離=0.615m (-54466.94, 11999.56, 168.00)	端点を図郭線上に移動

ガイド | レポート | チェックリスト1 | チェックリスト2 | **確認リスト** | 断面

端点間の最大距離(m)

両端点間の最大距離を指定します。この距離以下の端点の組が対象になります。

図郭線からの最大距離(m)

上記「B」と「C」の処理で、端点が図郭線から離れている場合、端点と図郭線との距離がこの値より小さい端点の対象となります。

DMの線(E2)の端点は図郭線上か図郭内にあることを前提にしています。図郭線外に出ているケースはメニュー「図郭チェック」の「図郭外」で検出し、先に修正しておいてください。